

代表者名	加藤 哲郎	所管部課名	健康福祉部健康推進課
所在地	秋田市千秋久保田町6番6号	設立年月日	平成7年3月29日

【沿革及び県の出捐理由】

移植医療の推進を図り、県民の医療の向上のため、県等の出捐により(財)秋田県臓器移植推進協会として平成7年3月29日設立。平成17年4月、角膜移植等を推進してきた(財)秋田県アイバンクと統合し、名称を(財)あきた移植医療協会に改称。

【出捐者】(23年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	74,810	43.5
市町村	25	73,820	43.0
その他	64	23,160	13.5
計	90	171,790	100.0

【事業】

①主たる業務

臓器移植に関する法律に基づく移植医療についての正しい知識の普及と角膜移植を含めた臓器移植に対する理解を深めるため、各種啓発事業を実施するとともに、医療機関との連携体制の整備や院内コーディネーターの研修を実施する。

②事業実績

(枚、カ所)

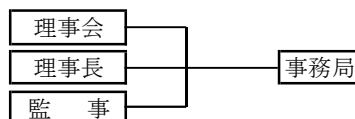
事業名等	20年度	21年度	22年度
意思表示カード等の配布	55,075	45,053	40,994
コーディネーター活動	543	443	424

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

普及啓発事業は、意思表示カード等の配布を公共機関、医療機関等に設置するとともに、街頭キャンペーン、種苗交換会においても実施したほか、臓器移植フォーラムを開催した。また、医療関係者普及啓発事業では、院内コーディネーターの研修会を開催したほか、臓器提供マニュアルの作成・改訂の支援を行った。さらに、臓器不全の予防普及啓発事業「腎臓病を考える集い」を開催した。23年度は、改正臓器移植法の内容の周知など引き続き県民や医療機関に対する普及啓発事業を実施するほか、アイバンク用医療機器の更新による支援体制の整備、財源確保のため賛助会員の拡大等に努める。

【組織】

①運営機構



②役員数 (H23. 7. 1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	15			2
内、県退職者	1			2
内、県職員				
計	15			2
内、県関係者	1			2

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

③職員数 (H23. 4. 1現在)

(人)

正職員	2	正職員	正職員
内、県退職者	1	平均年齢	平均勤続年数
出向職員		51歳	8年
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県退職者		正職員平均年収	
計	4	3,344千円	
内、県関係者	1		

【財務】

①損益状況(22年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	10,232
受託事業収入	5,634
補助金収入	
自主事業収入	600
運用益収入	1,420
その他	2,578
経常支出 B	15,652
人件費	10,895
その他	4,757
経常損益 C = A - B	△ 5,420
経常外収入	
経常外支出	
諸税	
当期損益	△ 5,420

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

②財務状況(22年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	27,565	13.6
固定資産	174,885	86.4
資産計	202,450	100.0
流動負債	160	0.1
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	160	0.1
基本金	171,790	84.9
剰余金	30,500	15.1
正味財産計	202,290	99.9
負債・正味財産計	202,450	100.0

	(千円)	(%)	
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率

【県の財政支出】

(千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	6,290	5,634	5,634	臓器移植連絡調整者設置委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	99.93	99.92	99.92	▲ 0.01	0.00
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	24,612.66	20,427.16	17,228.13	▲ 4,185.50	▲ 3,199.03
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	41,531	35,920	30,500	▲ 5,611	▲ 5,420
	経常利益率	%	▲ 63.40	▲ 58.28	▲ 52.97	5.12	5.31
	総資本利益率	%	▲ 2.92	▲ 2.70	▲ 2.68	0.22	0.02
発展性	経常収入額	千円	9,829	9,627	10,232	▲ 202	605
効率性	総資本回転率		0.05	0.05	0.05	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	2,457	2,407	2,558	▲ 50	151
	人件費比率	%	113.27	113.40	106.48	0.13	▲ 6.92

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	人件費比率(人件費/公益事業支出)(%)	目標	61	61	70	70
		実績	71	72	70	
	県委託費の割合(%)	目標	61	61	60	60
		実績	64	59	55	
事業成果指標	意思表示カード等の配布(枚数)	目標	57,000	57,000	50,000	45,000
		実績	55,075	45,053	40,994	
	院内コーディネーター設置病院の割合(%)	目標	77	82	85	90
		実績	82	82	88	
顧客満足度指数	目標	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

移植医療に関する正しい知識の普及と理解を得るため、普及啓発資料、意思表示カードを公共施設医療機関等へ設置したほか、各種イベントにおいて配布した結果、県民のカード所持率は上向いており、理解は得られてきているものの、臓器の提供実績は横ばいであり、地道ではあるが、引き続き普及啓発に努める必要がある。また、院内コーディネーター設置病院の拡大を図るほか医療施設の態勢整備、連携に向けた活動を強化していく必要がある。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

I 概ね安定した経営内容

II 一層の努力を要する経営内容

・民間助成金が増加し、経常収入が増加したものの、臓器提供意思表示カードの制作事業費も増加したため、前年度とほぼ同一水準の6期連続となる経常損失5百万円を計上した。現在の収支構造では、5・6年後には一般正味財産が赤字となることが予想され、早急に事業の在り方を見直す必要がある。

<早期の改善が望まれる事項>

・平成23年度の収支予算では、経常損失が約6百万円であり、法人単独での改善が困難であるとすれば、他法人との統合も視野に入れ、幅広く検討する必要がある。